

人口減少・高齢化が全国を上回るスピードで進行する北海道。

医療・介護に係る社会保障負担の増加をはじめ、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足、仕事と介護の両立困難に伴う労働生産性低下など、地域社会・経済の持続性に対する深刻な影響が懸念される。

こうした中、ヘルスケアサービスによる健康寿命の延伸や家族介護者の負担軽減が期待される中、先端技術の活用や異分野を横断・融合する新事業創出、すなわちイノベーションが利活用促進の鍵となるのではないかと。

本セミナーでは、産×学×官のオープンイノベーションによるヘルスケア産業の創出・振興と社会課題解決に向けて、その現在地と今後の展望を議論する。

PROGRAM

■ 14:30~14:35 主催者挨拶

国立大学法人北海道国立大学機構

オープンイノベーションセンタービジネス開発部門 部門長・教授 玉井 健一

■ 14:35~15:45 基調講演

「エア・ウォーターの森」から 北海道の社会課題を解決する

エア・ウォーター北海道株式会社

事業企画部 インキュベーショングループ リーダー 棟方 祐介 氏

■ 15:45~15:55 休憩

■ 15:55~16:10 施策説明

新しい健康社会の実現に向けた経済産業省の施策について

経済産業省 北海道経済産業局 地域経済部 健康・サービス産業課

■ 16:10~17:05 パネルディスカッション

オープンイノベーションによるヘルスケア産業の 創出・振興と社会課題解決に向けて

エア・ウォーター北海道株式会社

事業企画部 インキュベーショングループ リーダー 棟方 祐介 氏

さくらCSホールディングス株式会社・エイチスリー株式会社 代表取締役 中元 秀昭 氏

国立大学法人北海道国立大学機構

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 准教授 藤原 健祐

ファシリテーター

国立大学法人北海道国立大学機構

オープンイノベーションセンタービジネス開発部門 特任准教授 本間 中

■ 17:05~17:25 オープンイノベーションセンターの取り組みのご紹介

国立大学法人北海道国立大学機構

オープンイノベーションセンタービジネス開発部門 教授 北川 泰治郎

産学官で 北海道の未来を共創する

新しい健康社会の実現に向けた
北海道におけるヘルスケアイノベーション

令和6年度

オープンイノベーションセミナー

2025

3/18 TUE

開催日

参加費 無料

定員:60名

締切 2025年3月13日(木)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます

主催 国立大学法人北海道国立大学機構
オープンイノベーションセンター



共催 小樽商科大学

後援 経済産業省北海道経済産業局、北海道ヘルスケア産業振興協議会、
エア・ウォーター北海道株式会社、さくらCSホールディングス株式会社

時間

14:30~17:30(開場14時00分)

MAP

会場

エア・ウォーターの森
1階ホール

(札幌市中央区北8条西13丁目28-21)



登壇者プロフィール

PROFILE

基調講演・パネリスト

エア・ウォーター北海道株式会社
事業企画部 インキュベーショングループ
リーダー

むねかた ゆうすけ
棟方 祐介 氏



1979年3月札幌生まれ。
2000年に国家資格「臨床検査技師」を取得し、5年ほど医療機関にて従事。主に心電図、脳波、エコー検査などを行う。
その後、北海道エア・ウォーター株式会社(現:エア・ウォーター北海道株式会社)に入社。医療部門の睡眠事業の立ち上げに参加。10年ほど現場で睡眠事業に従事した後、在宅医療事業全般の運営管理業務を行う。
新たな挑戦として、当時社内公募されていた本社事業企画部に異動し、2024年12月札幌市桑園地区にオープンしたオープンイノベーション施設「エア・ウォーターの森のプロジェクトマネージャー」の一人として北海道の社会課題解決のために、奔走する。
担当は、食と健康・観光・ヘルスケア分野
＜主な資格＞臨床検査技師、睡眠改善インストラクター、北海道フードマイスター、ITパスポート

パネリスト

さくらCSホールディングス株式会社
エイチスリー株式会社
代表取締役

なかもと ひであき
中元 秀昭 氏



1970年北海道生まれ。
大手セキュリティ会社にて営業職に従事し、トップセールスとして活躍。
32歳の時、株式会社さくらコミュニティサービスを設立。現在はさくらCSホールディングスグループの代表として、健康延伸・介護関連事業を展開。
エイチスリー株式会社は、株式会社さくらコミュニティサービスと北海道国立大学機構オープンイノベーションセンターが行った分野融合型共同研究によって生まれた「メディカル・フィットネス」の利用促進を図るスタートアップ企業であり、北海道国立大学機構発スタートアップ企業第1号の称号が付与されている。
他、小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻MBA(経営管理修士)取得。国立大学法人北海道国立大学機構 小樽商科大学 特認教授、厚生労働省老人保健健康増進等事業 検討委員会等に就任。

パネリスト

国立大学法人北海道国立大学機構
小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻 准教授

ふじわら けんすけ
藤原 健祐



1980年11月旭川生まれ。
MBA(小樽商科大学)、Ph.D.(保健科学)(北海道大学)
診療放射線技師として病院勤務の後、技師養成校で教鞭を執る。
2018年には北海道大学にて文部科学省「課題解決型高度医療人材育成プログラム」の運営に携わり、2019年から現職。現在は「病院経営アドミニストレーター育成プログラム」「ネクストリーダーの経営学へ介護ビジネスの革新的戦略～」他、リカレント教育プログラムの開発・運営やヘルスケア関連事業に関わる教育・研究に従事。
小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門地域連携推進部主任を兼任。



オープンイノベーションセンターは、帯広畜産大学の「Agriculture(農学)」、小樽商科大学の「Commerce(商学)」、北見工業大学の「Engineering(工学)」の頭文字から、通称 ACE(エース)と名付けて活動する研究推進組織です。
ACEは北海道が抱える課題に対し、生産者から大学・企業等までが一体となって共同研究を行える体制の構築や、国のICT基盤を活かした情報共有システムを構築して研究情報を統合管理・活用・発信することで、産業界/現場が描く未来の姿を目指し、課題解決策を考える発想で実証試験の充実を図るなど、ACEが中核となった分野融合型の研究プロジェクトに取り組みます。

ACEは未来の北海道を共創する

オープンイノベーションセンター ACE

～地域共創による共同研究・社会実装の推進～

- 産学官金メンバーが大学にアクセスし易いプラットフォーム機能
- 研究情報の発信と地域ステークホルダーとの対話/ニーズ把握
- 多様なフェーズにおける実装を見据えた商農工連携支援体制
- 独自予算による可能性検証試験や専門人材コンサルで支援強化

連携

北海道国立大学機構
教育イノベーション
センター(ICE)
(人材育成)



大学 研究

- ・地域対話とニーズ把握
- ・産学官金プラットフォーム
- ・セミナー等情報発信
- ・ニーズ・シーズマッチング

可能性 検証

- ・POCファンド
- ・分析/プログラム
- ・コンソ形成支援

技術 育成

- ・現場試験支援
- ・予算獲得支援
- ・知的財産支援

実装 支援

- ・ビジネスコンサルティング
- ・ベンチャー設立支援
- ・人材育成

ACEの特徴と役割

ACEでは、分野の異なる三大学(帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学)が有する研究成果、人的資源等を最大限に活用し、北海道における地域社会の持続的発展に貢献するため、商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進することで、産業界/現場の皆さまが抱える様々な課題について、ともに解決策を探ります。

※オープンイノベーションセンターパンフレット(2024.10作成版)から引用

お申込み・お問い合わせ

悪天候等により、プログラム変更などがある場合は、こちらのサイトでお知らせいたします。 https://www.otaru-uc.ac.jp/cgs_news/426376/

国立大学法人北海道国立大学機構
経営企画課大学連携室研究推進係

TEL:0134-27-5222
E-mail:ace_jimu@office.otaru-uc.ac.jp
URL: <https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/>

お申込み方法

下記申込みフォームよりお申込みください

(読み取りができない場合は、必要事項をご記入のうえ、左記アドレスまでお送りください。)

- ①ご氏名 ②ご氏名(ふりがな) ③お電話番号 ④メールアドレス
- ⑤ご所属(社名、学校等)※学生の方は学年をご記入ください
- ⑥パネリストに質問したいことがありましたらご記入ください
※すべてのご質問にお答えできるとは限りませんが、予めご了承ください
- ⑦次回の当センター主催セミナーの案内希望有無

必要事項

お申込み

<https://forms.office.com/r/xUQeD7nAdd>



▲申込みフォーム